



【2018-03-14】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、  
人生を味わう



今週の雑感

『冬の田んぼと幸運な出会い！』

長野修二

## 冬の田んぼと幸運な出会い！

---

冬の田んぼの散歩は、寒風が吹きつける過酷で、しかも殺風景な光景でしょうか。

この意味では、冬の散歩は格闘です。

それでもきれいに澄んだ青空と雑草などが枯れて田んぼを広く見渡せることは、とても気持ちがよいものです。



今年、この地の田んぼは水路のメンテナンスをおこっており、田んぼを走る水路が掘り起こされ、これまでよりも水路が深くなり、まわりの枯草も取り除かれてすっきりとしました。

4月になれば水が導かれてこれらの水路を勢いよく流れ、それぞれの田んぼを潤していくことになるでしょう。

水路に水が流れ田んぼを潤す季節も、今から楽しみにになります。



冬の田んぼは、それでもやはりむき出しの土だらけのため、寒々とした景色はしかたないところでしょうか。

田んぼ好きな私は、それでも年中田んぼの景色を見るために散歩をすることになります。

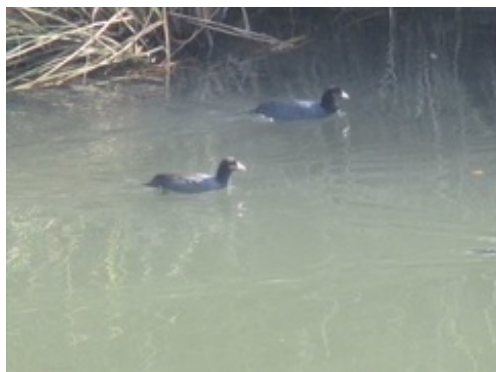
今年は子犬がわが家にやってきましたので、近くの公園に行くことが多くなりましたが、それでも子犬が寝ている間にそっと家を抜け出して田んぼを歩く楽しみはなんとも言えません。

家を出る前からわくわくしており、そのわくわく感がなんともいえないものなのです。

殺風景な景色の中にも冬鳥のツグミが田んぼの中やあぜ道を歩いており、この季節の友達になってくれます。



また、川沿いを歩けば、[オオバン](#)やカモたちの姿をみることができ、この季節ならではの友人といったところでしょうか。





そのほかにも多くの鳥たちをみることができますが、なかなかお目にかかれない鳥もいます。



この地では年に1回みることができればよいほうでしょうか。  
それもほとんどが飛んでいる姿です。  
まれに水辺の枯れ枝に止まっても写真を撮るのは大変です。  
餌場でもなければ、すぐに飛び去ってしまうからです。

昨年、田んぼ脇の大きな水路を飛翔している姿をみて、この地で生活してくれていることに、ほっとしたものです。  
この鳥は鮮やかな姿なので飛んでいる姿をみるだけでも幸せになれ

ます。

今年は田んぼ脇の水路がきれいになったことで、水路を餌場にして  
いる一羽を偶然目にする事ができ、しかも写真を撮ることができ  
ました。

比較的長い時間枯れ枝に止まってくれていたお陰ですが、このよう  
な幸運な機会ははじめてです。

まじかに見る鳥は、鮮やかな色とともに特徴あるくちばしをはっきり  
とみることができました。



このようなとき冬の寒さの中の散歩でも幸運な出会いとともに、し  
ばし時が止まったような幸福感を味わえるものです。

まさに、「[カワセミ](#)」の魅力でしょう。



このように幸運な出会いがあるからこそ、田んぼの散歩はやめられません。

1年中、このような偶然の出会いと感動があるからこそ、田んぼの散歩は病みつきになります。

そして人間としての自分を取り戻すことができる貴重な空間なのかもわかりません。